

米国東航荷動き

1.5%減の1300万TEU

11年震災・円高も日本微増

米国のゼポ・コーポレーション(Zepol Corporation、本社ミネアポリス)の統計によると、2011年のアジア主要10カ国発米国内向け東航荷動きは母船積み地ベースで前年比1.5%減の1304万325TEUとな

った。12月単月では前月から10.3%減の99万1504TEUで、前年同月から0.7%減と横ばい。米国全体の輸入貨物量は1.2%増と微増だったため、アジア10カ国が米国内輸入に占めるシェアは2%下落し66%だった。

通年実績を国別に見てみると、中国は横ばい。韓国はウォン安を背景に自国出し貨物が増加したほか、中国発トランシップ貨物の減少を東南アジアやインド発貨物の増加などで埋め合わせた。ベトナムは荷受地

ベースでは2.4%増にとどまったが、カイメツ港への直接寄港便が増加したことで母船積み地ベースでの伸び率は高くなった。香港はトランシップ貨物の流出を背景に母船積み地ベースでは15.6%減と下落が目立つ。

震災や円高など逆風の強かった日本は、荷受地ベースでは1.3%増とわずかながら増加ペースを維持。一方、横浜や大阪、仙台からの母船積み貨物では減少が目立った。大阪や神戸発

貨物では釜山トランシップ經由の貨物が前年から約1.5倍に増加。横浜は母船積み地ベースで23.6%減と大幅減。釜山經由の貨物は増加しているが、大阪・神戸に比べて絶対量が小さく、貨物の流出というよりはトレード減速の影響を大きく受けたものと見られる。

日時「1月25日(水)午後5時半〜7時半▽場所」ホテルグランヴィア大阪(大阪市北区梅田3-1-1、電話06-6344-1235)▽講演「457コソテナの利用について」講師「東洋ゴムSCM統括部長 三好裕一物流グループ担当部長▽出席者」鈴木英敏・三重県知事、田中俊行・四日市市長、小菅弘正・四日市港振興会会長、貿易関連企業・船社など約150人▽連絡先「四日市港管理組合経営企画部振興課航路対策担当(担当)犬飼、坂本、電話059-366-7026)」

り。川崎汽船は今月か海発日本向けの輸入スロットを増強した。他船スロットを借り受け航路で2ループ、関で1ループのサービで1ループのサービ設。これに伴い関西から既存航路1ル休止するため、一連により、上海発関西従来の週2便から3便増えることになり、上海発関西向けに

2011年12月および1~12月累計の米国東航荷動き

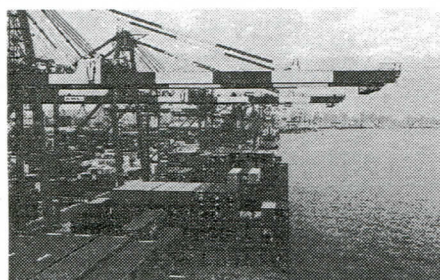
母船積み地ベース

順位	積み地	12月実績	前年同月比	前月比	1~12月実績	前年比	シェア
1	中国	581,875	0.3%	▲11.5%	7,758,097	▲0.3%	60%
2	韓国	106,286	12.7%	▲12.9%	1,363,134	▲0.9%	10%
3	香港	82,622	▲11.8%	▲10.4%	1,147,798	▲15.6%	9%
4	台湾	72,202	▲3.6%	▲5.8%	922,186	▲2.8%	7%
5	日本	52,971	▲3.8%	▲3.4%	630,577	▲2.4%	5%
6	シンガポール	40,824	▲3.6%	▲10.6%	540,838	▲9.3%	4%
7(8)	ベトナム	18,413	11.3%	▲4.1%	213,442	▲32.5%	2%
8(7)	タイ	12,074	▲23.9%	▲7.3%	165,912	0.0	1%
9(10)	マレーシア	12,234	▲10.8%	▲4.1%	150,891	6.8%	1%
10(9)	インド	12,004	0.0	▲1.6%	147,449	▲5.2%	1%
	合計	991,504	▲0.7%	▲10.3%	13,040,325	▲1.5%	100%
	米国輸入計	1,534,918	0.7%	-	19,784,328	1.2%	-

荷受地ベース

順位	積み地	12月実績	前年同月比	前月比	1~12月実績	前年比	シェア
1	中国	741,082	▲0.5%	▲1.5%	8,685,186	▲1.6%	67%
2	韓国	62,852	2.8%	▲5.9%	730,520	3.1%	6%
3	日本	57,524	▲1.9%	▲1.0%	658,951	1.3%	5%
4	台湾	43,781	▲2.4%	▲2.5%	528,418	▲11.3%	4%
5	香港	43,430	▲12.1%	▲12.0%	525,065	0.6%	4%
6	ベトナム	40,348	▲0.3%	▲5.4%	468,177	2.4%	4%
7(9)	インド	34,790	5.9%	▲2.7%	398,891	11.5%	3%
8(7)	インドネシア	31,295	▲5.8%	5.2%	365,792	▲1.4%	3%
9(8)	タイ	26,869	▲13.4%	▲13.6%	349,394	▲3.4%	3%
10	マレーシア	16,266	▲5.9%	▲1.1%	185,162	▲9.0%	1%
	合計	1,098,237	▲1.4%	▲2.6%	12,895,557	▲1.2%	100%

Zepol Corporation Trade IQ より、順位は通年実績に基づく。カッコ内は2010年順位



日本出しは1.3%増と微増に(写真は東京港)

大阪でセミナー開催
四日市港、25日に
四日市港管理組合は25日、大阪で貿易関連企業や船社などを対象に「四日市港セミナー」を開催する。セミナーの概要は次のとおり。



大阪港運協会は13日、市内のホテルで新年賀会を開催した。あいさつした溝江輝美会長(辰巳商會社長)は「写真は昨今の経済・社会情勢を概観したうえで、「新年を迎え飛躍へ心を新たにされていることと拝察する。大阪港は2010年8月に阪神港として国際コンテナ戦略港湾に選定され、西日本のゲートポートとして国の後押しを受けているが、単にバース整備だけでなく集荷力強化、税制面での優遇策といったソフト面での国の支援が不可欠」と強調した。

さらに、溝江会長は夢洲コンテナターミナル(DICT)に触れ、

大阪港運協会・新年賀会

溝江会長「国の支援」

ソフト面も不可欠

輸入サ

上海発日本

川崎汽船は今月か海発日本向けの輸入スロットを増強した。他船スロットを借り受け航路で2ループ、関で1ループのサービ設。これに伴い関西から既存航路1ル休止するため、一連により、上海発関西従来の週2便から3便増えることになり、上海発関西向けに

テナターミナルが